



復元銅鐸
(東奈良1号銅鐸鑄型)

Higashinara site

銅鐸から弥生時代社会を見直す

シンポジウム

要申込

定員
400人

令和4年

11/5

10:00 ~ 17:00

茨木市立生涯学習センターきらめき

茨木市畑田町一丁目 43

東奈良1号銅鐸鑄型
(国・重要文化財)

主催：茨木市教育委員会

後援：明治大学国際日本古代学研究クラスター・大阪府立弥生文化博物館

次第

10:00 挨拶：福岡 洋一（茨木市長）

10:05～15:05 報告（12:05～13:05 休憩）

「東アジアのなかの銅鐸」

春成 秀爾（国立歴史民俗博物館 名誉教授）

「銅鐸は九州で形成された」

石川 日出志（明治大学文学部 教授・日本古代学研究所長）

「九州の青銅器生産の始まりと展開」

常松 幹雄（福岡市埋蔵文化財課 主任文化財主事）

「近畿における武器形青銅器生産」

吉田 広（愛媛大学ミュージアム 教授）

「近畿における銅鐸生産の技術系譜」

清水 邦彦（茨木市立文化財資料館 学芸員）

「東奈良における銅鐸生産とその後の動向」

難波 洋三（奈良文化財研究所 客員研究員）

15:05～15:20 休憩

15:20～17:00 討議

【進行】中村 俊介（朝日新聞 編集委員）

【パネリスト】石川日出志・清水邦彦・常松幹雄・難波洋三・春成秀爾・吉田広

17:00 閉会挨拶：禰宜田 佳男（大阪府立弥生文化博物館長）

岡田 祐一（茨木市教育委員会教育長）

ご案内

参加申込 市HP申込み
フォームにて
受付

参加費 無料

申込期間 9月10日（土）9:00～
10月22日（土）17:00

定員 先着400人

問合せ先 茨木市立文化財資料館

TEL:072-634-3433 / FAX:072-637-4745

E-Mail:shiryokan@city.ibaraki.lg.jp



・JR総持寺駅より西へ約1.1km

・JR茨木駅・阪急茨木市駅からバスで中央図書館前すぐ
（中河原南口・追手門学院前・サニータウン行に乗り）

会場参加
の方への
お願い

- 体調がすぐれない場合は参加をご遠慮ください。
- マスクの着用、会場入口での手指消毒をお願いします。
- 接触確認アプリ COCOA の事前ダウンロード、当日の使用にご協力ください。



昭和四八年（一九七三年）秋、茨木市東奈良遺跡から銅鐸の鋳型多数が発掘され、考古学界は興奮、驚嘆した。鋳型は現在、国の重要文化財に指定され、茨木市の至宝として知られている。明年、発見五〇周年を迎えるにあたって、斯界の権威が参集して、銅鐸の起源と展開、銅鐸の祭りなどの問題に焦点を当て、あらためて東奈良鋳型の意義と評価について考える。